

東京大学史料編纂所 国際研究集会



維新史料研究
と
国際発信

日時:2019年12月10日(火)14:00~17:00

会場:伊藤国際学術研究センター3F 中教室

東京大学史料編纂所では、2019年度から「維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト」を開始しました。本プロジェクトでは、幕末維新史データベース（「維新史料綱要」DB）の英訳化に取り組み、「大日本維新史料稿本」（4200冊、90万コマ）の英語検索による閲覧・公開を実現します。また、歴史用語・史料用語の英訳グロッサリー研究を進め、所蔵する数万点の幕末維新関係史料のデジタルアーカイブ化や海外所在日本関係史料の調査・収集にも取り組んでいくつもりです。

今回は史料編纂所が所有する幕末維新関係史料や史料編纂所の構築した幕末維新史データベースをご紹介しますとともに、海外から研究者を招聘して本プロジェクトについての意見交換を行い、幕末維新史研究の国際発信を行う国際研究集会を開催します。

<報告1>箱石大（史料編纂所）

「維新史料編纂会と大日本維新史料稿本」

<報告2>横山伊徳（史料編纂所）

「史料編纂所の歴史情報研究と維新史料室DBの位置」

<報告3>杉本史子（史料編纂所）

「大日本維新史料シリーズ『井伊家史料』の人名電子索引公開について」

<報告4>小野将（史料編纂所）

「維新史料綱要データベースの英訳化と翻訳グロッサリー研究について」

※参加費無料、事前申込は[こちら](#)（当日参加も歓迎）、会場 Map は[こちら](#)

共催：東京大学史料編纂所／東京大学史料編纂所維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト

協力：JSPS 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業（JPJS00319217592）